



発行
日本共産党
春日部市中央
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

まん延防止、8月22日まで延長

臨時県議会 683億円補正予算可決

秋山文和県議会報告



7月9日、臨時県議会が開かれ、埼玉県のまん延防止重点措置期間が7月12日から8月22日まで42日間延長されることに伴い、コロナウイルス感染防止対策協力金の増額、個別接種を行う医療機関への支援、職域接種への支援などに必要な予算683億円の補正予算を全会一致で可決しました。

予算はすべて国庫支出金で

賄われます。

飲食店は日銭が命 支援金前払いを

飲食店や大規模商業施設に対する感染防止対策協力金の支給などを審議する産業労働企業委員会で秋山文和議員は、「飲食店は毎日の売り上げ・収入が命。42日間も待ってられない。期間を区切るなど、終わる前に協力金の支給を埼玉がいち早く実施すべき」と提案。

担当者は「前渡しについて近々国から通知があると思う。なければ働きかける」と答えました。この他、飲食店等に

個別接種を行う診療所・病院を支援

酒類を販売する事業者で今年4〜7月の売り上げが、前年・前々年の同月比で70%以上減少した事業者に、新たに特別枠で30万円上乘せする措置がとられました。これにより160事業者が対象となる見込み。県は6月議会で30%以上売り上げ減少事業者に4〜6月分各30万円。今臨時議会で7月20万円を決めています。

予算上7月末までとしている個別接種を行う医療機関への支援を8月以降も継続し、11月まで拡大しました。

診療所に対し期間中接種を、①週100回以上は1回2000円、150回以上は3000円②1日当たり50回以上行うと1日当たり10万円(定額、①の適用期間除く)を支給します。

病院に対しては、1日当たり50回以上の接種を週1日以上、期間中に4週間以上行っ

た場合に師等一人1時間当たり2760円支援します。この他県の集団接種会場を浦和合同庁舎1カ所から新たに3カ所を増やし4カ所とすることも決まっています。希望する方にいち早く安全にワクチン接種が進むよう党県議団は強く主張しました。

7月2日に閉会した6月定例県議会では、守屋裕子議員が一般質問を行いました。

コロナ対策で更なるPCR検査拡大、五輪・パラリンピックの聖火リレー・児童生徒の観戦動員中止、女性や学生の貧困問題、児童養護施設の虐待対策、太陽光発電施設の乱開発問題などを取り上げました。

大野知事は、コロナ禍でのジェンダー平等と女性の貧困問題について「日本は女性に貧困に陥りやすい社会構造になっており、女性が経済的に自立して貧困を解消するにはジェンダー平等が不可欠」と強調。正規雇用化支援、女性職員の管理職登用の考えを表明しました。

並木としえ議員一般質問

生理用品の無償配布と
公共施設・学校トイレに設置を

6月10日、並木としえ議員は6月定例市議会で「生理用品の無償配布と公共施設・学校トイレに設置を」について一般質問をおこないました。

生理用品無償配布
始まりました

「生理の貧困」についての問題意識が広がり、自治体による生理用品の無償配布も広がっています。

並木としえ議員は「春日部市においても早急に実施

を」と求めました。

越谷市など、県内の取り組みの多くは、防災備品として備蓄されていたもので、無償で配布するもので、備蓄品がなくなったらどうするかは決めていないということです。並木議員は「実施に当たっては一時的なものでなく、継続した事業とすべき」と主張しました。

福祉部長は「前向きに検討すべき事案」として「実施に当たっては、試行的に配布をおこないながら状況を見極め、今後の事業展開を検討していく」と答弁しました。

その後、6月18日から市役所などで無償配布が始まりました。

トイレトペーパー
同様に生理用品も

「生理」については「オーブンに語るべきではない」「恥ずかしいもの」という考えがあります。しかし、生理は母体を準備する尊い営みで、社会的に保護されてこそ、女性が生き生きと活躍することができます。

トイレにはトイレトペーパーが設置されていることが「あたりまえ」であるように、多くの女性の必需品である生理用品も、公共施設や学校のトイレに「あたりまえ」に設置すべき、と主張し、市の考えを質しました。

市民生活部長は「女性の生理については、多くの女性が心身の不調や不自由さを感じており、困難な状況を男性も含めて考えるきつ

かけになった意義は大きい」と述べましたが、公共施設トイレへの設置については「衛生面、管理面で課題がある」として「すべての女子トイレに設置することは難しい」と答えました。

また、学校トイレに生理用品を設置することについて、学務指導担当部長は「生理用品を必要とする児童・生徒には保健室で手渡していること。保健室で養護教諭から直接手渡すことで、困難を抱えている場合の相談に乗ることができるとのこと。トイレに設置することについては衛生面、管理面で課題があることからトイレへの設置は考えていない」という答弁でした。

「ください」と言わなくても必要とする時に使えるように、公共施設・学校トイレへの設置を、引き続き求めていきます。